

原村商工業振興審議会 会議録

令和6年2月26日（火）

原村役場 201 会議室

午後1時00分～午後3時25分

出席 委員（8名）

牛山徳康 宮坂早苗 佐宗利江

秋山静男 丸茂裕子 小平春仁

田島 豊 長田秀夫

事務局 小池課長 阿部係長 川俣

1. 開 会 …小池商工観光課長
2. あいさつ …牛山会長
3. 委嘱状交付 …牛山委員長、長田委員、秋山委員、丸茂委員へ再委嘱
4. 協議事項
 - 1) 原村起業チャレンジ補助金の審査について

申請者説明 1. a

村内でコーヒー豆の販売、カフェを経営している。

テラス席造成し集客するため申請。

——質疑応答——

A 委員：コーヒー専門店ですか？紅茶などもあるか？デカフェインもあるか。

申請者：コーヒー以外もある。コーヒーが苦手な方やお子様向けに紅茶、リンゴジュース、ミルクなどを用意している。需要が見込めないため今のところは置いていない。今後需要があれば用意する。

A 委員：営業日数、時間などは。

申請者：基本的には月、火定休で水曜から日曜営業、10時半から5時半まで営業している。

B 委員：行ったことが無い人からすると何の店かと思うことがあるが、今後何か変えていく予定はあるか。

申請者：当初はあえて大きな看板を設置していなかった。わざわざ探してきてくれる方が多い。通りがかりでパッと入って mismatch だったということのを避けている。しかしカーブしているところにあるので探してきてくれる方も急ブレーキをかけて危ないということもあり看板を最近設置した。

C 委員：客席はどの程度か。客層は。

申請者：店内14席、屋外8～10席程度。客層は冬場は近隣の方、夏場は別荘の方、北杜市からも

きている。通年豆を買う方もいる。

——説明者退席——

申請者説明 2. b

焼き芋の製造、卸売りを始めたい。
関係設備を整えるために申請。

——質疑応答——

D 委員：確認だが、夏場はハウレンソウをやっているが秋冬で焼き芋をやるとのことか。

申請者：はい。その通りである。

E 委員：芋の置き場はどうしているか、倉庫などはどうする予定か。冬場は農協の倉庫が空いていそうだが。

申請者：農協の倉庫は難しそうだった。近所に冷蔵庫を貸してくれる人がいる。小さいハウスに箱で保存し、電気毛布を掛けておく方法もある。

A 委員：どの程度の規模を想定しているか、農協はAコープのことか。

申請者：規模は冬場の外国人労働者の給料を払えればいくらい（100～200万）ではあるが、観光農園などの商品としても考えている。農協はAコープのことである。

A 委員：未来の村づくり農泊推進とは？何かしているのか。

申請者：観光農園をやってくれと声がかかっている。

A 委員：消費期限はどのくらいか、冷凍保存はどうか。

申請者：1週間くらい持つとは思っているが保健所から1日、2日と指導されている。店に置けるのは1日程度。冷凍するとなると設備が必要になる。

A 委員：6次産業化の補助金の活用はどうか。

申請者：補助率の関係でこちらを考えている。

——説明者退席——

申請者説明 2. c

輸入インテリアの卸売を行っている。
商品の仕入れ費用として活用するため申請。

——質疑応答——

F 委員：店頭販売はしているか。物をちょっと見たいときはどうすればいいか。

申請者：今は実店舗の販売はしていない、今後も考えてはいない。取引先に卸しているものがあるのでそちらを紹介している。

F 委員：原村にそのような店を置くことは考えていないか。

申請者：一人でやっているので手が回らない。従業員を雇えばできると思う。

- E 委員：オンラインストアにたどり着けなかった。見せてもらえるか。
申請者：(モニターで紹介)
- E 委員：倉庫はどのようにしているか。
申請者：自宅兼事務所の払沢の蔵を使用している。
- E 委員：エシカルな商品なので保管が大変なのは。
申請者：おっしゃる通りで、毎日確認してカビの除去などもしている。
- A 委員：実績はなにかあるか。商品の差別化はなにかあるか。雇用の予定は。
申請者：月 10~20 点販売している。大きな店舗から依頼があるとそれだけで数十点。安定はしていない。雇用する余裕はない。できればしたいが事業の拡大具合によって雇用していく。有名デザイナーがデザインしていること、天然素材を使用していることなどが強みにはなっている。

——採決——

集計結果	a	50 万円
	b	30 万円 (実経費 298,435 円)
	c	30 万円

2) 原村起業チャレンジ補助金の実績報告について 12 件

実績報告 5 名 (事業者対面報告あり)

a 欠席

- ・ エントランス工事、暖房設備導入

b

- ・ 自社ブランド果実酒販売

c

- ・ 整体にて波動療法機器ニュースキャンを使用した施術メニューの開発

d

- ・ 多目的スペースへのピアノ導入による音楽文化活性化事業

e

- ・ 店舗プロモーション冊子の作成及び配布

成果報告 7 名

5. 報告事項

1) 原村中小企業振興資金 融資状況について

コロナ関係については 500 万の補正を行い対応している

2) 原村起業チャレンジ補助金の終了について

要綱では令和 6 年度で終了する。

E 委員：令和 6 年度は検討期間になるのか

小池課長：制度が必要かも含めて検討していくことになる。

E 委員：継続はしたほうが良いが、内容は見直したほうが良いと思う。新規に起業すること

へのチャレンジに対して補助するものであることを念頭に見直ししたほうが良い。

A 委員：商工会にも補助金はあるのでそちらも参考に精査していかないと審査が難しい。

6. その他

前回審査した申請者が廃業されチャレンジ補助金の返還があった。

7. 閉 会 会長